



9月保育所だより

令和5年8月31日
桑折町醸芳保育所

例年であれば8月下旬から9月を迎える頃には秋の気配を感じるものですが、今年は現在も真夏日、更には猛暑日が続いており、極めて異常な天気となっています。気象庁において先日「今年の日本の夏は、フェーン現象と地球温暖化が重なった異常な暑さの夏であった。」と見解を示しました。

また、世界に目を向けてみても局地的な大雨による洪水や熱波による山火事があちらこちらで発生しています。これらの現象の主な原因は、地球温暖化の影響が考えられるようですが、今年の天気はあくまでも一時的な異常気象であって、この天気が通常の天気とならないことを願いたいものです。

さて、9月は暑さが一段落して、戸外で活動しやすい季節になります。(・・・なって欲しいと願います。) 体をいっぱい動かす戸外遊びや散歩を楽しみながら、体力そして病気の免疫力をつけてまいります。また、季節の草花や虫などに気付いたり、身近に感じたりして、五感を通して秋の遊びへと移行していきたいと思えます。

<今月の保育の目標>

0歳児

- 安全な環境の中で、発達に合った体の動きや遊びを楽しむ。
- 保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ

1歳児

- 季節の移り変わりを、健康に過ごす。
- 秋ならではの自然に触れたり、感じたりしながら、戸外遊びを楽しむ。
- ズボンやオムツの着脱をやってみようとする。

2歳児

- 身近な自然を感じたり、季節の移り変わりに触れたりしながら遊びを楽しむ。
- 保育者に見守られながら、身の回りのことに関心を持ち、自分でしようとする。
- 友達とかかわる中で、相手の思いに気づけるようになる。



<9月の行事予定>

- 11日(月)運動遊び教室(さくら組)
- 14日(木)運動遊び教室(ひまわり組)
- 15日(金)交通教室(さくら組)
- 25日(月)避難訓練
- 28日(木)誕生会



<10月の主な予定>

- 2日 内科検診
- 18日 尿検査
- 24日 避難訓練
- 26日 誕生会
- 31日 ハロウィンパーティー

< 保育所からのお知らせ・お願い >

【保育所ホームページについて】

日々の保育所の様子やお知らせ等を週2回更新していますので、ご覧ください。

[桑折町醸芳保育所] 検索 > 保育所の様子 > 令和5年度 > ○月 > ○月○○日

【持ち物について】

*ちゅうりっぷ・すみれ・ゆり・ひまわり・さくら組のお子さんは、夏場利用しなかった上履きを9月から使用しますので、持ってきてください。

*毎日持ち帰るコップや週末に持ち帰るズック等は、必ず洗って持ってきてください。

*着替え等持ち物には、必ず記名をお願いします。以前に書いた名前やシールが薄くなっていたり、取れていたりする場合は、再度、見やすいところに、できるだけ大きく書いてください。

【駐車場の利用】

駐車場内は徐行で、安全に走行してください。住宅・フェンス・壁に面している場所への駐車は、前進駐車をお願いします。また、停車中は、エンジンを必ず切ってください。

< 各クラスより >

たまご組

毎日暑い日が続き、体調が心配な日もありましたが、様子を見ながら、温度管理された室内でゆったり過ごしたり、テラスでぬるま湯を使って、水遊びを楽しんだりしました。お部屋の中で泣いていても、水遊びが始まると笑顔になって楽しむことができ、夏の遊びを十分楽しめたと思います。室内では、冷え冷えボトルの感触を楽しんだり、風船を使って遊んだりしながら、身体を動かして遊びました。9月は、気温の変化に留意しながら、初秋の自然に触れて遊びたいと考えています。

たまご組も水遊びを満喫→



ちゅうりっぷ組

8月にたまご組から6名のお友だちが仲間入りし、12名になったちゅうりっぷ組。お盆明けまで体調不良で欠席していたお友だちが多く、8月下旬に初めて12名全員出席することができました。

水遊びをすることはほとんどできませんでしたが、体調も回復し、元気に活動できるようになってきました。お友だちとのかかわりも増え、近寄って顔を見てニコニコしたり、同じことをして遊んだり、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようになってきています。まだまだ暑い日が続いていますが、9月は気温を見ながら戸外での遊びも楽しみたいと思います。

←風船遊びの様子→





↑おもちゃをたくさん浮かべて水遊び

すみれ組

8月は体調を崩してしまう子が多くいましたが、元気な子は、水遊びをして楽しみました。水が苦手だった子も少しずつ水に慣れ、足に水がかかっても泣かずに遊べるようになりました。水遊びが好きな子は、顔に水がかかっても笑っていたり、水の中に寝転んだりして楽しんでいました。

秋に向けて涼しくなってくるので、草花や虫など自然に触れ合えるよう、戸外で遊びたいと思います

ゆり組

進級してきたお友達も、新しいクラスに慣れて、楽しく過ごせるようになりました。今月は暑い日には、たくさん水遊びを楽しみました。その中で、スポンジ遊びや、絵の具遊び、色水遊び、水風船など、色々な遊びに触れていきました。また、実習の先生も来て、たくさん一緒に遊んでもらい、喜んでいただいていた子ども達でした。

少しずつ夏が終わり、季節の変わり目となっていくので、元気に体を動かして、丈夫な体を作っていきたいと思います。

小麦粉絵の具気持ちいい～！→



ひまわり組



↑みてみて～！およいでるよ～！

暑い日が続き、プールでの水遊びを楽しむことができました。初めの頃は、顔に水しぶきがかかると「いや！」「ダメ！」と言って大騒ぎしていましたが、段々と水に慣れてくるとホースからのシャワーの水を怖がらずに、シャワーに立ち向かってくるお友だちもいました。水鉄砲も上手に使えるようになり、保育者に向かってビューッと放水して楽しんでいたひまわり組です。ビニールプールでは、喜んで入りワニさん歩きをしていたお友達もいました。

生活面では、プールに入る前と後の着替えを保育者に手伝ってもらいながら、頑張って取り組む姿が見られました。

さくら組



↑体も使ってダイナミックな
フィンガーペインティングの様子

8月も水遊びを楽しみました。水遊びの中で絵の具を使って色水遊びやフィンガーペインティングなど夏ならではの遊びを繰り返し楽しみました。絵の具の色が混ざる様子を見たり、水の動きがより鮮明に見えたりしてさらに水遊びを楽しむことが出来ました。色の名前にも興味をもち、他の遊びの中でも色の名前を言ったり『どんないろがすき』の歌を歌ったりして楽しんでいます。

今年は暑い日が続き、8月下旬は暑さから体調を崩し始めたり疲れた様子だったりする子が増えてきました。季節の変わり目を健康に過ごせるように、9月は無理なくゆったりと過ごしていきたいです。

家庭生活ポイント 「生活リズム」「あいさつ」「読書」・・より

子どもの逆境に負けない力 ～レジリエンス～を育てる①

レジリエンスとは？

誰もが人生で予期せぬ逆境や困難に直面します。それが自分にとって大きな出来事であればあるほど、心もダメージを受けて、エネルギーがなくなってしまいます。しかし、私たちは、落ち込んで涙しても、そこから立ち直り、前に進んでいく力を持っています。このような人間の持つ心の回復力を「レジリエンス」といいます。レジリエンスは、何が起きてもびくともしない強い心というよりは、心が傷ついてへこんだり、折れたりしても、そこから「立ち直る力」のことを指します。目まぐるしく変化していく時代には、予期せぬことがたくさん起こります。このような時代には、何があってもびくともしない強さより、つらい経験で落ち込んだりしても、気持ちを立て直すことができる「しなやかな心の強さ」を育てていくことが重要です。

レジリエンスを育てる要因は？

子どもたちのレジリエンスは、「個人内要因」と「環境要因」が相互に影響しあって育ちます。個人内要因とは、自己肯定感、感情調整力、問題解決能力など、子ども自身の中に育つ力です。一方、環境要因とは、周囲との関係性や助けになってくれる人の存在など外的なリソースのことです。特に幼児期においては、両親や養育者、先生方など信頼できる大人との関わりを通して、子どもたちはレジリエンスという力を育てていきます。

大人との安定した関係が鍵

子どもを温かく見守ってくれて、子どものニーズに敏感に答えてくれる大人の存在。そして、レジリエンスを発揮する様子を見せてくれるお手本となり、困難を乗り越える方法を教えてくれる大人の存在は、子どもが人生で困難に直面した際、立ち直る力の源となるのです。また、幼児期の子どもの発達に重要とされる、安定した愛着、安全基地の提供は、子どものレジリエンス育成にも欠かせない要素となります。

次号につづく➤